

(新) 多様な生物を育む健全な湖沼づくり事業

30百万円(0百万円)

水・大気環境局水環境課

1. 事業の概要

湖沼は水質のみならず、水辺の植生、水生生物、水鳥や景観によっても特徴づけられ、またこれらは人々が湖沼に対して求める恩恵の重要な要素でもある。

「湖沼環境保全制度の在り方について(答申)」においても、「湖沼の水環境保全に対する多様な地域住民のニーズにも対応していくため、... (中略) 在来動植物の生息・生育環境の保全・再生、親水機能を有する施設の整備等、生物多様性、健全な湖沼生態系の保全といった視点や人と湖とのかかわりを重視する視点が重要である」と指摘された。

このため、モデル湖沼において、水質と水量、水辺、水生生物について、水環境相互影響メカニズム等の調査、湖沼環境の保全・再生手法の検討及び多様な生物を育む健全な湖沼づくり等を行い、湖沼の利用者が求める多様なニーズに対応しつつ、水質、水量、水辺地及び水生生物等が豊かな湖沼の水環境を保全・再生していくためのモデル事業を行う。

2. 事業計画

調 査 項 目	H 2 0	H 2 1	H 2 2
・水環境相互影響メカニズム等の調査 ・湖沼環境の保全・再生手法の検討及び 多様な生物を育む健全な湖沼づくり等		→	
			→

3. 施策の効果

水質、水量、水辺地及び水生生物等に対する住民のニーズに対応しつつ、きれいな水、美しい水辺、水鳥や昆虫、魚類が豊かで魅力あふれる湖沼の保全・再生を図り、もって、国民に快適な生活環境を提供する。

4. 備 考

調査費 30,000千円 (内訳) 文献・現地調査等 15,296千円
実証試験等 14,704千円